

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2020～2021年度 国際ロータリー ホルガー・クナーク 会長テーマ

Rotary Opens Opportunities ロータリーは機会の扉を開く

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 神野 公秀
幹事 鬼頭 一浩
会報委員長 池田 直樹

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3100回例会プログラム

[当年度=17回目；当月=3週目]

2020年（令和2年）11月16日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:00 〈食事〉
12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……………〈副会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……………それどころロータリー
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 副会長挨拶並びに副会長報告
7. 幹事報告
8. 出席報告
9. 委員会報告
10. ニコニコボックス報告
11. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(11/23) ……休会（法定休日）
(11/28) ……
観劇家族例会（親睦活動委員会）
11:00～例会（碧海信用金庫御園支店）
12:00～観劇（御園座）
※11月30日(月)の例会変更分です。

2. クラブフォーラム……………〈ロータリー財団委員会〉

- 13:00 卓話「ロータリー財団プログラムについて」
～財団は、ロータリー会員の財産です～
講師 地区ロータリー財団委員会
委員長 朱宮 新治 様
(犬山RC)
(紹介者 奥野 櫻子 会員)

12. 謝辞
13. 点鐘……………〈副会長〉
14. 閉会宣言
13:30 15. 散会

出席

会員総数 97名 出席免除 22名
出席義務者+免除者の内例会出席者 93名
欠席 9名 出席率 90.32%
前々回（11/2）の修正出席率 100%

副会長報告

- 1) 国際ロータリーより、マルチプル・ポールハリス・フェロー6回の認証ピンバッジが太田宗一郎会員に、4回が野村紀代彦会員に届きました。



太田宗一郎 会員



野村紀代彦 会員

幹事報告

- 1) 本日例会終了後に特別会議室にて第6回理事会を開催します。関係の会員はご出席をお願い致します。

委員会報告

●親睦活動委員会

1) 11月28日 土曜日 観劇例会を御園座にて行ないます。申込をされた会員は出席をよろしくお願い致します。

副会長あいさつ

下谷 敏朗



副会長2回目のあいさつをさせていただきます。

前回のあいさつで、新国立競技場の軒庇が全国47都道府県から集めた杉の木を使ってその産地に向けて庇が作られていると言葉で説明しましたがその写真を持ってきました。

今回は木造で作られている建物についてお話ししたいと思います。

この国立競技場は設計士隈研吾氏のデザインで、コンセプトは木のスタジアムということで、高さ47mの屋根をフラットにしたことでスタジアムにしては圧迫感が無く木のぬくもりと相まって、巨大建造物にありがちな無機質さが和らぎ隣接する明治神宮外苑の景観とも調和するそうです。

ではその高さについてこだわって話を進めます。

日本一高い建造物と申しますと皆様ご存じの「東京スカイツリー」の634m、また日本一高いビルは「あべのハルカス」の300mということは皆様良くご存じだと思いますが、では日本一高い木造建築はと申しますと皆様わかりますでしょうか？答えは京都東寺に建つ五重塔です。高さは国立競技場よりも高く55メートルあります。

五重塔は794年創建されましたが4度の火事で焼失され現在の五重塔は1644年再建された5代目の塔だそうです。この五重塔が今日まで地震で倒壊したことが無いことが不思議です。理由は心柱という太い柱が塔の真ん中で独立して礎石の上のせて五層の屋根の小屋組みただ1か所のみ接合してこれが免振的働きをして地震の揺れを吸収している構造になっているそうです。

この心柱の神秘的な働きは370年前の設計者がどのような構造計算で建てたのか、また55メートルもの心柱をクレーンもない時代にどうやって立てたのかは不思議です。この心柱の振り子のような工法は、東京スカイツリーもあべのハルカスも一部取り入れています。このことは日本の建築の歴史を現代にうまく引き継いだ日本人ならではの知恵だと思います。

次に鉄骨や鉄筋コンクリート造りのビルディングが最近では木造化が進んでいることをお話しします。まずその理由ですが日本国土は70%が森林でその中で戦後の植林された木材が伐採時期に入ってきたことで林業を救う手立てになり、また木材は二酸化炭素を吸って酸素を出します。鉄骨造りのビルと比べて二酸化炭素の排出量を約20%も抑えられ地球温暖化の防止につながります。ま

(2)

た木材は鉄骨よりも軽く加工能力も手間がかかりません。よって建築コストを大幅に下げることができます。

現在、木造のビルで完成しているものの中で一番高い建物は竹中工務店が建てた12階建てのビルです。今後の計画の中で三井不動産が地上17階建て高さ70mの木造オフィスビルを東京日本橋に作るようとしています。そしてもっとすごいのが、住友林業が東京丸の内に超高層木造ビルを2041年に建てる構想をしているそうです。その高さ350m地上70階建てだそうです。20年後にあべのハルカスをしのぐ木造ビルディングができるのか大変興味がありますが、何よりも日本は昔から木に恵まれ木の文化や歴史があり木の温かみを感じる国だと実感いたしました。

卓 話

「ロータリー財団プログラムについて」 ～財団は、ロータリー会員の財産です～

講師 地区ロータリー財団委員会
委員長 朱宮 新治 様 (犬山 RC)



今月11月はいわゆるロータリー財団月間ということでございますが、RI理事会と財団管理委員会が1983-84年度に11月をロータリー財団月間と決めました。11月には全クラブが同時に財団月間を実施し、クラブが財団プログラムを支援、推進、参加する特別の月間であります。この期間中、財団の活動を広く知らせる手段の一つとして、地区財団委員会からお邪魔させていただいて貴重な例会時間を頂き、奨学金プロジェクト、人道的プロジェクトなど財団活動について基本的な内容で申し訳ありませんがお話させていただく月間でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また日頃は財団活動に格別のご理解、ご協力を頂いて感謝申し上げますと共に、当刈谷ロータリークラブの神野会長さんはじめ多くのロータリアンの仲間の皆さんには大変お世話になっており昨年度も年次基金寄付、ポリオ寄付にもご協力していただき改めてお礼申し上げます。地域に根付いた様々なプロジェクトを毎年長年に渡り続けられておられるクラブでございますので是非2760地区、特に西三河分区の範を絶えずお取りいただけますようお願い申し上げます。

さてアーチ・クラブがRIの会長のとき、掲げた「良いことをするため」というスローガンが1917年ロータリー財団発足の礎となり、彼のそのビジョンと努力、そして26ドル50セントの最初の寄付と世界中のロータリアンの寛容さがあったおかげで、現在ロータリー財団は世界の人道支援団体の見本として尊敬されるようになりました。そしてロータリー財団は、2017年には100周年を迎え、1世紀を超えて、ロータリーの柱として活動し、多くの実績を積み重ねて来ました。

創立以来100年間を超え、ロータリー財団は、教育の

支援や持続可能な成果を産み出すプロジェクトに総額40億ドルの資金を提供してきました。2018/19年度に於いても、疾病予防をはじめとした重点6分野等に総額8660万ドルの資金を提供いたしました。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることは皆さんご存知の通りです。

本年度ラビンドラン RI 財団管理委員長は、「財団は、ロータリアン会員の財産です」と、唱えられておられます。是非ご理解頂きたいと思います。

ところで世界にある約36,000クラブは、発展途上国にきれいな水をもたらし、平和に携わる人材を育成するなど、世界中で持続可能な影響をもたらしています。例えば、過去5年間、財団のグローバル補助金では、約19億円が環境に関連したプロジェクトに充てられてきましたことから、環境を支援する7つめの重点分野として「環境の保全」が次年度から始まることになりました。」ポリオ撲滅活動においても、予防接種活動を通じて発症数を世界で99.9%減少させてきましたし、アフリカではこの度終結となり、皆様からのご寄付は、こうした活動に大切に活用されています。

例えば、わずかなご寄付で、一人の命を救うことができます。一人の子供をポリオから守るのに必要なワクチンのコストは、わずか60セント（約70円）で行えます。勿論ロータリー財団へのご寄付は、個人、法人とも税額控除が受けられますことをご存知と思います。

ロータリー財団は長年にわたり、世界の切迫したニーズに応えるために、疾病の予防、地域経済の発展、平和の促進、母子の健康、非識字と貧困の緩和、きれいな水衛生設備の提供などに取り組んでおり、25億人の子供たちにポリオの予防接種を提供しております。

より平和な世界を築くために、これら大きなニーズのある6つの分野に重点をおき、国際関係を培いながら人々の暮らしを支援しています。

ここで刈谷 RC さんの寄付、補助金利用を見てみますと、昨年度では、年次寄付は1人当たり209.55ドル、使途指定寄付（ポリオプラス）は1人当たり33.14ドル、恒久基金を含め、総額38,055.78ドルと多額の寄付を頂き、ご協力感謝申し上げます。

さて財団委員会には、資金管理委員会、資金推進委員会、補助金委員会、ポリオプラス/VTT委員会と、グローバル補助金奨学生並びに平和フェローの、募集から選考、手続き上の相談と援助を主たる目的とするグローバル奨学生・平和フェロー委員会の5つの委員会がありますが、この委員会を統括し、ロータリー財団委員会全般の管理、運営、広報、研修等を行う責務があります。ロータリー財団は毎年色々な修正が行われ、いつも新しい情報が必要になりますので、クラブとのコミュニケーションをたえず良くして、正確な情報を提供してまいります。

国際ロータリーとロータリー財団は、今や切っても切れない存在と言えるでしょうし、ロータリー財団はまさにロータリーの土台となっているわけです。これからも

世界で良いことするために、ロータリー財団に暖かいご支援と更なるご協力をお願いいたします。

本日は貴重な例会の時間を頂き、感謝申し上げます。また財団への理解を深めて頂く機会となりますことと、皆様のクラブの更なるご隆盛をご祈念申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

健康診断



第6回理事会

- I 会長挨拶 〈会長〉
- II 議題
 - 1. 12月・1月のプログラム（案）について 〈クラブ奉仕委員長〉
〈プログラム委員長〉
 - 2. 新年例会並びに合同懇親会について 〈幹事〉
 - 3. 刈谷市民管弦楽団第37回定期演奏会後援名義使用について 〈社会奉仕委員長〉
 - 4. RYLA セミナー参加について 〈青少年奉仕委員長〉
 - 5. インターシティー・ミーティング（IM）の登録について 〈幹事〉
 - 6. 地区大会について 〈幹事〉
 - 7. ロータリー希望の風奨学金への支援協力について 〈幹事〉
 - 8. 中部経済新聞社年賀広告について 〈幹事〉
 - 9. その他
- III 会場監督の所見